

と き め き

鳥根県農業技術センター

ミヤコカブリダニによるブドウのハダニ類防除

ブドウの長期展張型ハウスにおいてハダニ類の発生前あるいは発生初期に1～2回ミヤコカブリダニを放飼することにより、ハダニ類の増殖を抑制し防除効果が認められた。

近年、ブドウ栽培では耐久性の高いビニルを使用し、周年被覆した長期展張型ハウスが増加しています。このため、害虫の発生が早まり、ハダニ等の被害が増大しています。そこで、省力的で安全性の高い天敵によるハダニ類の防除について検討しました。

2002から2005年にハダニ類防除を行うためにミヤコカブリダニ剤(商品名:スパイカル®)をハダニ類の発生前あるいは発生初期に1～2回、市販のお茶パックに入れ枝間に放飼しました(写真1)。放飼量はそれぞれ2,000頭(500ml)/10aとしました。

その結果、無放飼区では薬剤散布を行ったにもかかわらず、収穫期にはハダニ類が増加し、葉焼けや落葉の被害が見られました。一方、天敵放飼区ではハダニ類の増殖に伴ってミヤコカブリダニの増殖がみられ、一部の圃場で殺ダニ剤のスポット散布を行ったもののほとんどの処理区で収穫期までハダニ類の増殖を抑制し、その効果は収穫終了後も続きました(図1、図2)。

今後は、もっとも効果的な放飼時期や放飼量について検討していく予定です。



写真1 ミヤコカブリダニと放飼の様子

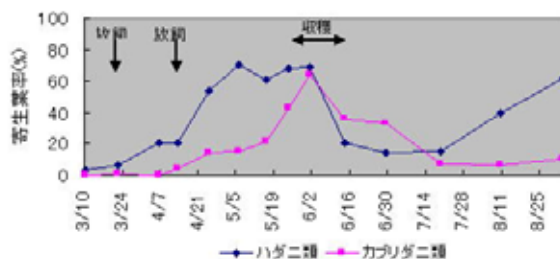


図1 ミヤコカブリダニ放飼によるハダニ類防除(周年被覆)

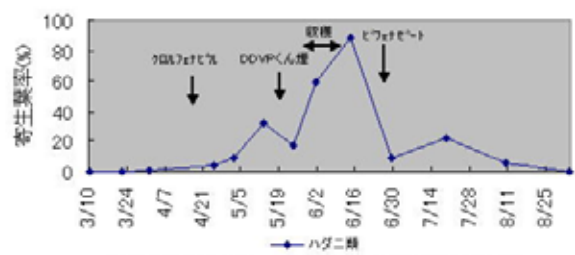


図2 ミヤコカブリダニ無放飼区におけるハダニ類の発生推移(周年被覆)

問い合わせ先：資源環境研究部病虫グループ(担当:澤村信生)

TEL 0853-22-6698

E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp